

# 第92期 中間事業報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日



中越パルプ工業株式会社  
CHUETSU PULP & PAPER  
(証券コード:3877)



## 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

当社の第92期中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業概況につきましてご報告申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長 **長岡 剣太郎**

### ボイラー火災のお詫びおよび大気汚染防止法に係る調査について

去る7月7日（土）午前10時40分頃、当社高岡工場・能町において発生した4号回収ボイラーの火災により、地域の皆さま、お取引先さまや株主さまなど、多くの皆さまにご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

また、高岡工場・能町と川内工場のボイラー操業における大気汚染防止法に係る基準値の超過が判明いたしました。

地域の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。

衷心よりお詫びを申し上げますとともに、設備対策、管理体制の強化を実施し、法令順守に向けて全社を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 業績概況

日本経済は、輸出関連企業を中心に緩やかな回復基調が持続しております。

中越パルプ工業グループは、原燃料価格の高騰による収益悪化を吸収すべく、上質紙、塗工紙を中心とした製品販売価格の値上げを実施するとともに、引き続き「収益倍増計画」の取り組みを強力に推進し、能町、二塚工場の統合、生産効率の向上等徹底したコスト削減対策により、収益の確保に努めました。

この結果、当中間期の連結業績は、売上高555億4百万円（前中間期比0.2%の減収）、経常利益14億5千万円（前中間期比11億6百万円増）、中間純利益6億2千8百万円（同6億7千1百万円増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、一株につき3円の配当を実施いたします。

### 【紙・パルプ及び紙製品製造事業】

#### ◎一般洋紙、包装用紙、特殊紙

一般洋紙、包装用紙、特殊紙ともに国内消費は前年に比べ低調に推移しましたが、一般洋紙を中心に輸入紙の大幅減少により国内メーカーの需要は堅調に推移しました。当社におきましては、減産により数量は減少しましたが、販売価格修正を実施したことにより増収となりました。

#### ◎加工品、紙器他

紙容器の需要、販売ともに横ばいで推移しました。また、飲料用、食品用原紙価格の復元を実現しました。

### 【その他の事業】

#### ◎運送、建設施工他

運送事業は、取扱量が減少したことにより減収となり、建設部門等につきましては横ばいで推移しました。

## 今後の取り組み

印刷用紙を中心とした製品販売価格の値上げはほぼ浸透したものの、木材チップ・古紙・燃料・薬品等諸資材のコストアップ要因は深刻の度合いを強め、依然として予断を許さない経営環境であります。中越パルプ工業グループは、省エネ、コスト削減などの生産効率の向上、関係会社の統廃合など「収益倍増計画」の実行に邁進し、聖域なきコスト構造改革を断行中であります。

さらに、このたび本社機能を創業の地、富山県高岡へ移転することを決定いたしました。本社機能が工場と一体化することで、高岡工場を強力にバックアップして総合力の強化を図り、また、「高岡工場」と「川内工場」となる簡素で効率的な組織のもと、経営資源の集中的な投下を行うことが可能となります。

今後もあらゆる知恵を振り絞り、わき目もふらずに本業に徹し、本業を深く耕すことで強い企業、特色あるユニークな企業としての発展を目指し、グループ全体の確固たる経営基盤を構築してまいります。

## グループ会社の統廃合

平成17年度に策定した「収益倍増計画」を推進してまいりましたが、このたび競争力強化に向けた新たな取り組みのひとつとしてグループ会社の統廃合を実施いたしました。

平成19年10月1日に川内工場の運送部門を担う九州流通株式会社は、中越物産株式会社と合併いたしました。

平成19年11月1日には設備部門を担う北陸エンジニアリング株式会社と鹿児島機工株式会社が合併し、中越テクノ株式会社となりました。

当社グループの白板紙、段ボール原紙の製造を行っておりました九州板紙株式会社は事業撤退、会社清算を前提に本年9月で生産を停止いたしました。

## 当社のコーポレートガバナンス（企業統治）とコンプライアンス（法令順守）の取り組み

当社は、これまで品質、環境、地域社会、安全を柱とした経営原則に従い、たくましく戦い、安心して勤められ、喜んで働ける会社の建設に邁進してまいりました。

このたび、当社グループ全社員が企業倫理を順守し、「ひと・もの・心」を大切にす誠実さを常に持ち続ける企業として、社会に貢献していくことを誓い、新たな「経営理念」を制定いたしました。

また、製品の安全性と品質確保の追求、法令の順守と企業倫理、人権の尊重、衛生と安全の確保、環境保護、社会貢献への取り組み、経営の責務を骨子とした「中越パルプ工業グループ企業行動憲章」を制定し、公正で透明な良き企業市民としての責務を果たし、高い倫理観で自ら行動することで企業価値の向上を目指します。

### 経営理念

私たち中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

#### 一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

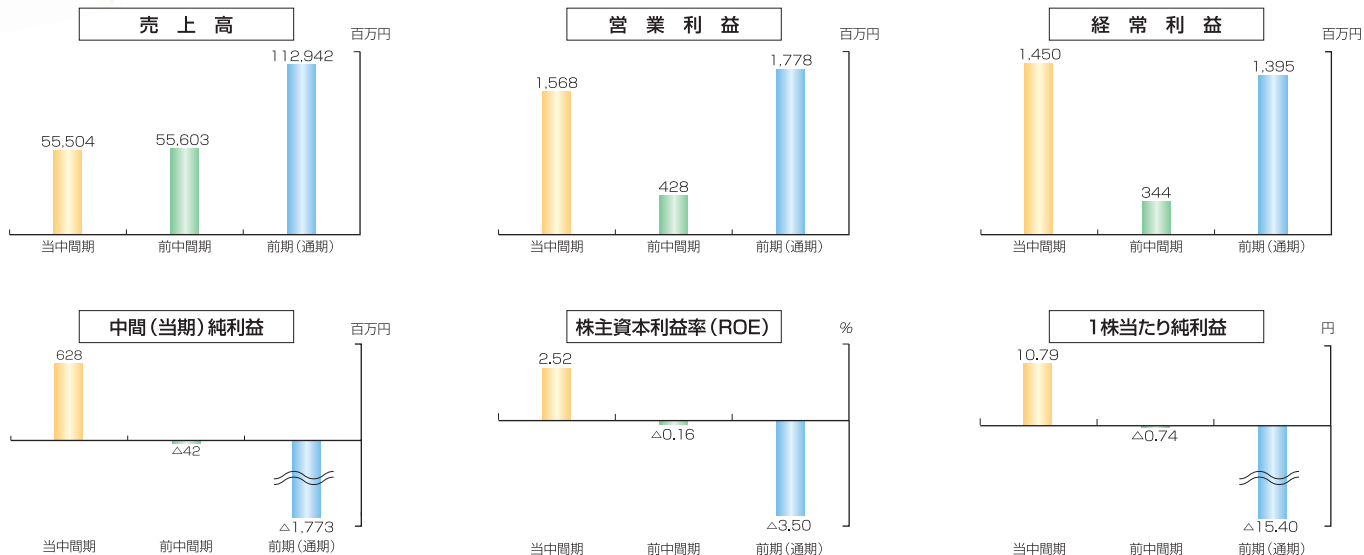
#### 二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

#### 三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

## 連結業績



(注) 中間期のROE、1株当たり純利益の計算については、純利益を2倍にして計算しております。

## 事業の種類別セグメント情報 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

区分	紙・パルプ及び紙製品製造事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	53,220	2,283	55,504	—	55,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	63	9,308	9,372	(9,372)	—
計	53,284	11,592	64,877	(9,372)	55,504
営業費用	51,998	11,366	63,364	(9,429)	53,935
営業利益	1,285	226	1,512	56	1,568

(注) 1. 事業の区分は、製品の製造方法の類似性を考慮して区分しております。

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 各区分の主な製品

(1) 紙・パルプ及び紙製品製造事業…紙、パルプ、紙加工品他

(2) その他の事業…運送、建設施工、工業薬品、紙断裁他



# 中間連結貸借対照表 (平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

	当中間期末 (平成19年9月30日現在)	前期末 (平成19年3月31日現在)		当中間期末 (平成19年9月30日現在)	前期末 (平成19年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>47,892</b>	<b>50,346</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>74,151</b>	<b>75,592</b>
現金及び預金	2,034	2,685	支払手形及び買掛金	20,626	22,726
受取手形及び売掛金	29,363	31,663	短期借入金	44,759	44,908
有価証券	18	54	未払法人税等	169	218
たな卸資産	14,175	13,865	事業整理損失引当金	570	570
その他	2,380	2,176	賞与引当金	635	686
貸倒引当金	△80	△99	その他	7,390	6,482
<b>固 定 資 産</b>	<b>104,160</b>	<b>104,536</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>26,012</b>	<b>27,482</b>
有形固定資産	<b>92,256</b>	<b>91,914</b>	社 債	6,000	6,000
建物及び構築物	21,573	21,920	長期借入金	12,821	13,609
機械装置及び運搬具	60,772	58,862	退職給付引当金	6,571	7,094
土地	7,980	7,995	その他	619	778
建設仮勘定	1,076	2,287	<b>負 債 合 計</b>	<b>100,164</b>	<b>103,075</b>
その他	852	848	<b>純 資 産 の 部</b>		
無形固定資産	<b>286</b>	<b>276</b>	資 本 金	17,259	17,259
投資その他の資産	<b>11,618</b>	<b>12,345</b>	資本剰余金	14,654	14,654
投資有価証券	8,091	8,338	利益剰余金	18,169	17,890
その他	3,667	4,154	自己株式	△30	△27
貸倒引当金	△139	△146	<b>株 主 資 本 合 計</b>	<b>50,053</b>	<b>49,777</b>
			その他有価証券評価差額金	1,567	1,719
			繰延ヘッジ損益	111	-
			<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,678</b>	<b>1,719</b>
			少数株主持分	156	310
			<b>純 資 産 合 計</b>	<b>51,888</b>	<b>51,807</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>152,053</b>	<b>154,882</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>152,053</b>	<b>154,882</b>

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
売上高	55,504	55,603
売上原価	44,261	45,655
売上総利益	11,243	9,947
販売費及び一般管理費	9,674	9,519
営業利益	1,568	428
営業外収益	389	330
営業外費用	508	414
経常利益	1,450	344
特別利益	56	664
特別損失	431	899
税金等調整前中間純利益	1,075	109
法人税、住民税及び事業税	122	238
法人税等調整額	307	△126
少数株主損益	16	40
中間純利益	628	△42

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュフロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュフロー	4,351	3,665
投資活動によるキャッシュフロー	△3,716	△1,085
財務活動によるキャッシュフロー	△1,291	△2,368
現金及び現金同等物の増減額	△655	212
現金及び現金同等物期首残高	2,655	1,853
現金及び現金同等物中間期末残高	1,999	2,065

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	17,259	14,654	17,890	△27	49,777	1,719	—	1,719	310	51,807
中間連結会計期間中の変動額 剰余金の配当			△349		△349					△349
中間純利益			628		628					628
自己株式の取得				△3	△3					△3
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額(純額)					—	△152	111	△40	△153	△194
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	279	△3	276	△152	111	△40	△153	81
平成19年9月30日残高	17,259	14,654	18,169	△30	50,053	1,567	111	1,678	156	51,888

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。



## 個別中間貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当中間期末 (平成19年9月30日現在)	前期末 (平成19年3月31日現在)		当中間期末 (平成19年9月30日現在)	前期末 (平成19年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>41,885</b>	<b>42,242</b>	<b>流動負債</b>	<b>68,362</b>	<b>67,724</b>
現金及び預金	1,176	1,780	支払手形及び買掛金	15,935	16,416
受取手形及び売掛金	24,598	25,025	短期借入金	43,579	43,449
たな卸資産	12,388	12,069	未払金他	8,847	7,858
その他	3,722	3,365	<b>固定負債</b>	<b>22,791</b>	<b>23,705</b>
<b>固定資産</b>	<b>98,114</b>	<b>97,995</b>	社債	6,000	6,000
<b>有形固定資産</b>	<b>86,700</b>	<b>86,224</b>	長期借入金	12,317	12,996
建物及び構築物	19,880	20,154	退職給付引当金他	4,474	4,709
機械装置及び運搬具他	59,338	57,354	<b>負債合計</b>	<b>91,154</b>	<b>91,429</b>
土地	6,161	6,172	<b>純資産の部</b>		
その他	1,319	2,543	資本金	17,259	17,259
<b>無形固定資産</b>	<b>219</b>	<b>198</b>	資本剰余金	14,372	14,372
<b>投資その他の資産</b>	<b>11,194</b>	<b>11,572</b>	利益剰余金	15,725	15,657
投資有価証券	7,228	7,431	自己株式	△30	△27
その他	3,966	4,140	<b>株主資本合計</b>	<b>47,327</b>	<b>47,262</b>
			評価・換算差額等	1,518	1,545
<b>資産合計</b>	<b>140,000</b>	<b>140,237</b>	<b>純資産合計</b>	<b>48,846</b>	<b>48,808</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>140,000</b>	<b>140,237</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。



## 個別中間損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
売上高	46,754	46,458
売上原価	37,240	37,568
売上総利益	9,513	8,889
販売費及び一般管理費	8,444	8,903
営業利益	1,069	△13
営業外収益	438	576
営業外費用	481	389
経常利益	1,026	173
特別利益	26	639
特別損失	369	706
税引前中間純利益	683	106
法人税、住民税及び事業税	8	14
法人税等調整額	257	△125
中間純利益	417	217

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。





## 個別中間株主資本等変動計算書(要約) (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

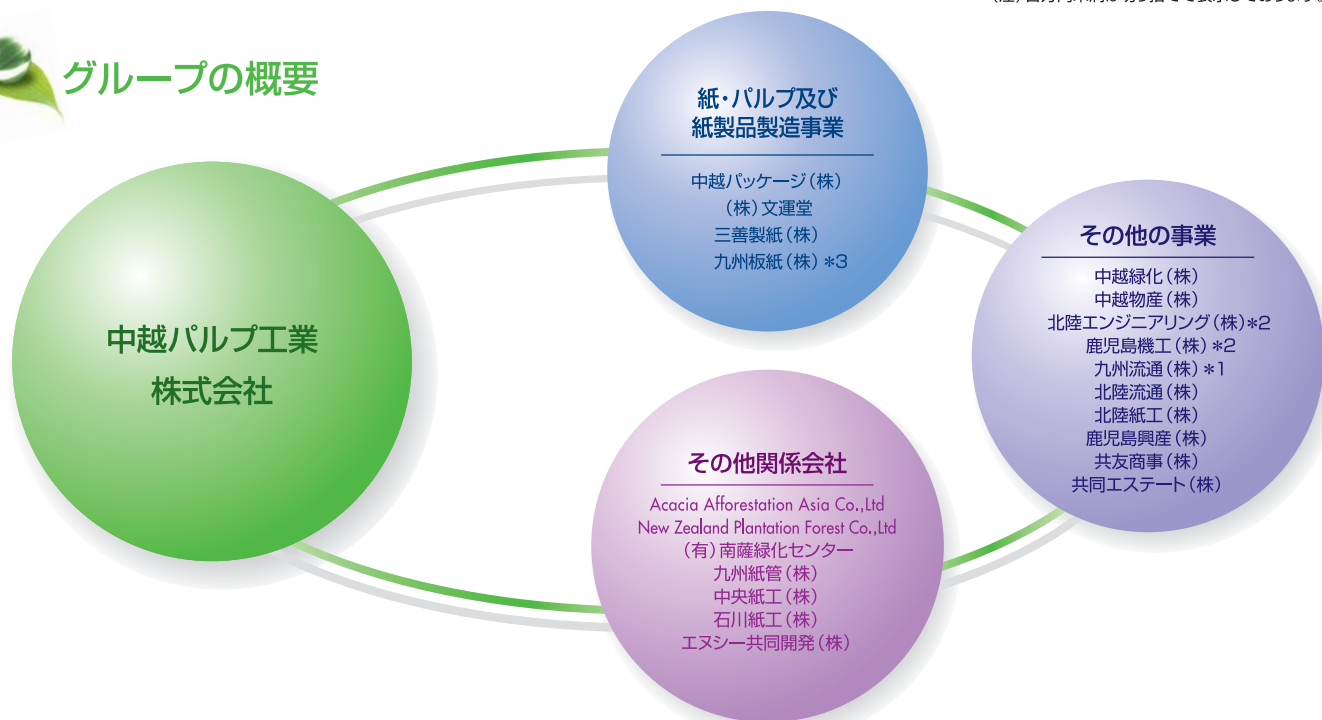
(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	17,259	14,372	15,657	△27	47,262	1,545	—	1,545	48,808
中間会計期間中の変動額									
別途積立金の取崩					—			—	—
剰余金の配当			△349		△349			—	△349
中間純利益			417		417			—	417
自己株式の取得				△3	△3			—	△3
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)					—	△138	111	△26	△26
中間会計期間中の変動額合計	—	—	68	△3	64	△138	111	△26	38
平成19年9月30日残高	17,259	14,372	15,725	△30	47,327	1,406	111	1,518	48,846

(注)百万円未満は切り捨てて表示しております。



## グループの概要



\*1)九州流通(株)は、平成19年10月1日に中越物産(株)と合併し、中越物産(株)となりました。

\*2)北陸エンジニアリング(株)と鹿児島機工(株)は平成19年11月1日に合併し、中越テクノ(株)となりました。

\*3)九州板紙(株)は、今後会社清算を行います。



## 会社の概要 (平成19年9月30日現在)

- 商 号 中越パルプ工業株式会社
- 本 社 所 在 地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
- 創 業 昭和22年2月
- 資 本 金 17,259百万円
- グループ従業員数 1,875名
- 主 な 事 業 内 容
  - ◎パルプから一貫して印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および各品古紙入り再生紙、竹入洋紙の製造ならびに販売を行うとともに、パルプの一部を販売し、併せて若干の仕入販売を行っております。
  - ◎国内外において、造林事業を行っております。
- 主 な 事 業 所
 

<b>本 社</b>	東京都中央区銀座2-10-6	
<b>大阪営業支社</b>	大阪府大阪市西区京町堀1-1-20	中越大阪ビル6F
<b>名古屋営業所</b>	愛知県名古屋市中区錦2-15-22	りそな名古屋ビル4F
<b>福岡営業所</b>	福岡県福岡市博多区博多駅前3-19-5	博多石川ビル7F
<b>川内工場</b>	鹿児島県薩摩川内市宮内町1-26	
<b>高岡工場・能町</b>	富山県高岡市米島282	
<b>高岡工場・二塚</b>	富山県高岡市二塚3288	



## 役 員 (平成19年9月30日現在)

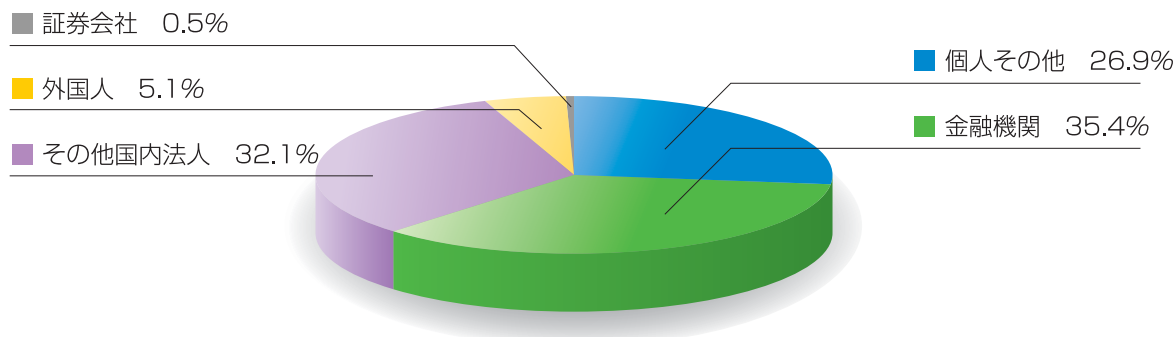
代表取締役社長	長 岡 剣太郎	常任監査役(常勤)	室 谷 照 男
専務取締役	竹 下 賢 二	監査役(社外)	今 野 昭 昌
常務取締役	原 田 正 文	監査役(社外)	平 戸 恭 一
常務取締役	成 毛 康 夫		



## 株式の概況 (平成19年9月30日現在)

○ 株式の状況	発行可能株式総数	450,000,000株
	発行済株式の総数	116,654,883株 (自己株式 118,615株含む)
	株主数	11,791名

### ○ 所有者別持株比率



### ○ 大株主(上位10名)

株主名	株数	持株比率
王子製紙株式会社	(千株) 10,539	(%) 9.03
日本紙パルプ商事株式会社	6,065	5.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,961	5.10
株式会社北陸銀行	5,735	4.91
新生紙パルプ商事株式会社	5,038	4.31
国際紙パルプ商事株式会社	4,759	4.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	4,312	3.69
株式会社みずほコーポレート銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
株式会社損害保険ジャパン	2,511	2.15

(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。



## 株主メモ

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 株主総会

定時株主総会 毎年6月

### 基準日

定時株主総会の議決権 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

### 公告方法

電子公告により当社ホームページに掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって

電子公告をすることができない場合は、

日本経済新聞に掲載いたします。

### 株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社

東京都港区芝三丁目33番1号

〔同事務取扱所〕

証券代行事務センター

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

〔同取次所〕

中央三井信託銀行株式会社全国各支店

日本証券代行株式会社本支店

### 単元株式数

1,000株

### 単元未満株式の買取請求受付場所

上記の株主名簿管理人、同事務取扱所および

同取次所にて受付けております。

ただし、証券保管振替制度をご利用されている場合は、

お取引の証券会社にお申し出下さい。

### 上場証券取引所

東京・大阪(市場第1部)

中越パルプ工業株式会社(証券コード3877)

〒104-8124 東京都中央区銀座二丁目10番6号

電話 03-3544-1524 (代表)

インターネット・ホームページ：<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

用紙:高岡工場・能町製品 雷鳥コート 104.7g/m<sup>2</sup>

表紙写真:尾瀬の風景から木道のリサイクルまで(撮影:当社グループ社員)



地球環境を保護するために、大豆インキを使用しています。